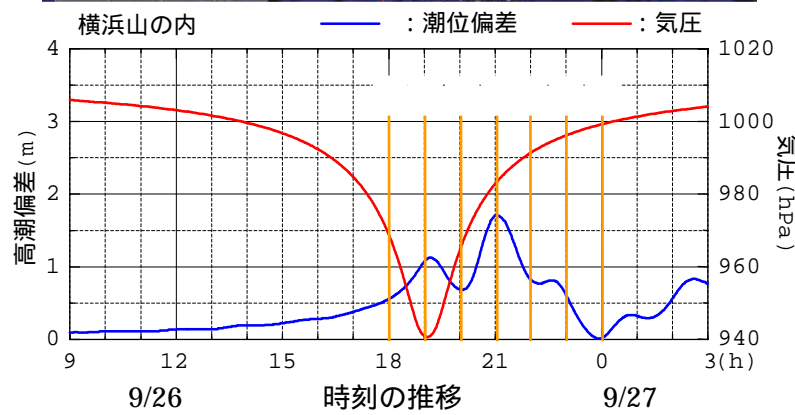
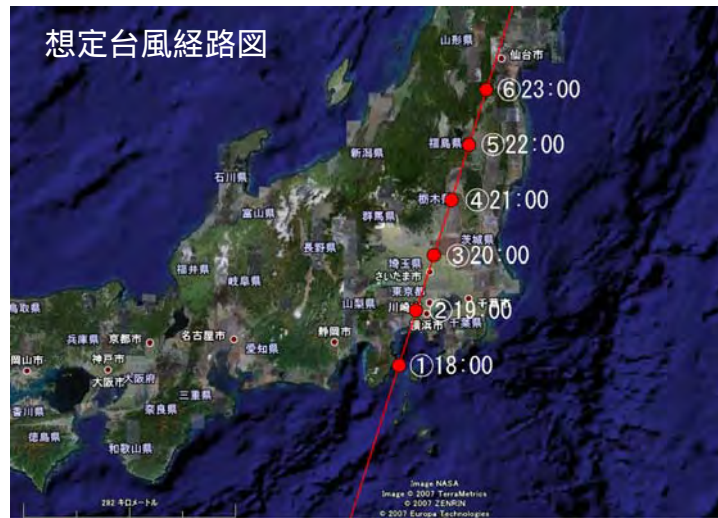
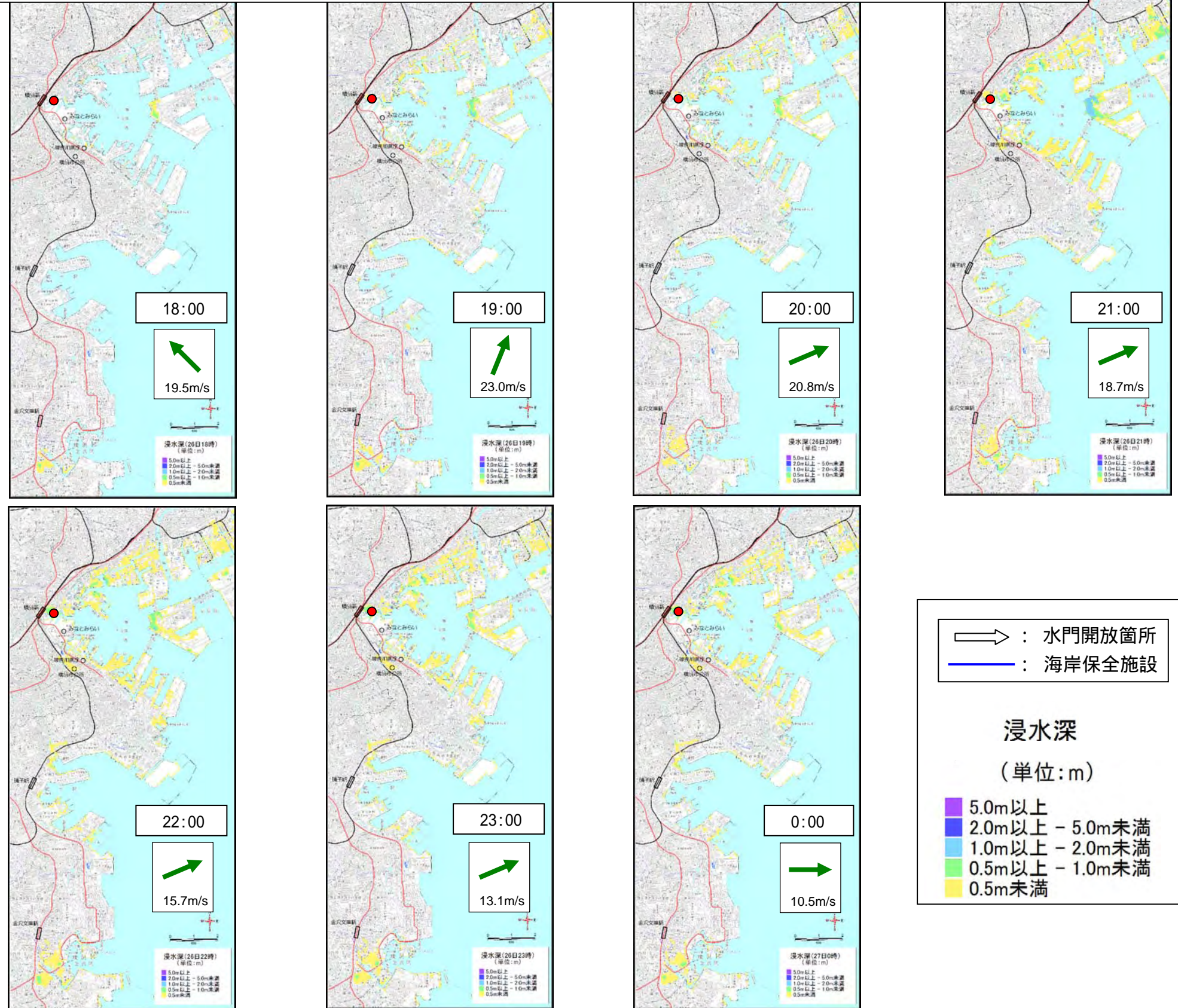


横浜港等における各シナリオの浸水想定結果の概要

横浜港等:シナリオA・シナリオB 伊勢湾台風級、温暖化による水位上昇考慮しない(海岸保全施設が存在しないことからシナリオ A・シナリオ B は同一条件)



最大浸水深分布
 浸水面積: 1,205ha
 浸水量: 3,131 (× 1,000m³)



⇒ : 水門開放箇所
 — : 海岸保全施設

浸水深
 (単位:m)

- 5.0m以上
- 2.0m以上 - 5.0m未満
- 1.0m以上 - 2.0m未満
- 0.5m以上 - 1.0m未満
- 0.5m未満

浸水域の経時変化

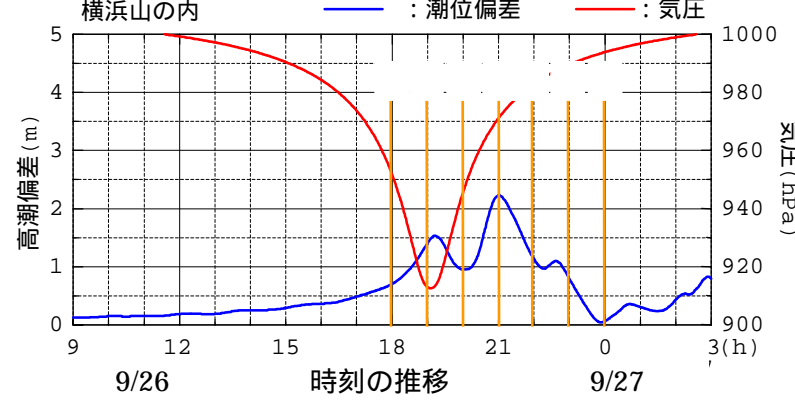
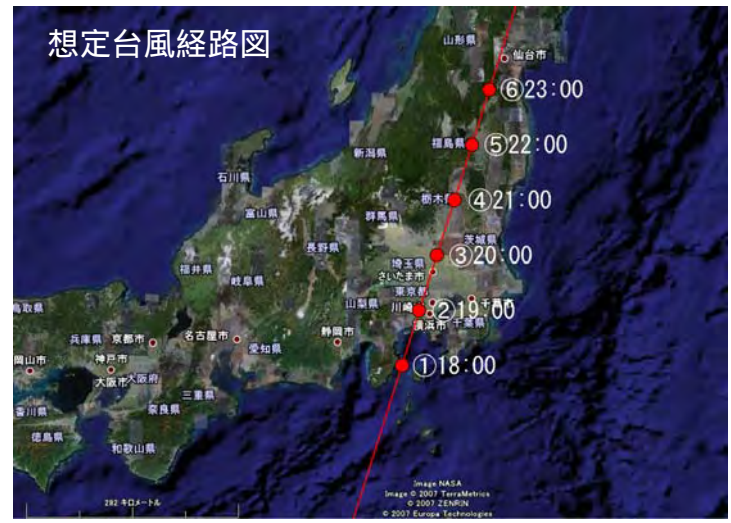
- ・ 浸水図中に矢印 (⇒) で示す風向・風速は、横浜港山の内埠頭付近の推算値である (浸水図中の 印)。
- ・ 浸水図 は、台風通過後に偏差が最低となる時の浸水状況を示すものである。

注1: 海岸保全施設については海岸省庁(水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局)及び海岸管理者の協力を得て、平成20年度末の天端高及び耐震化状況を設定。

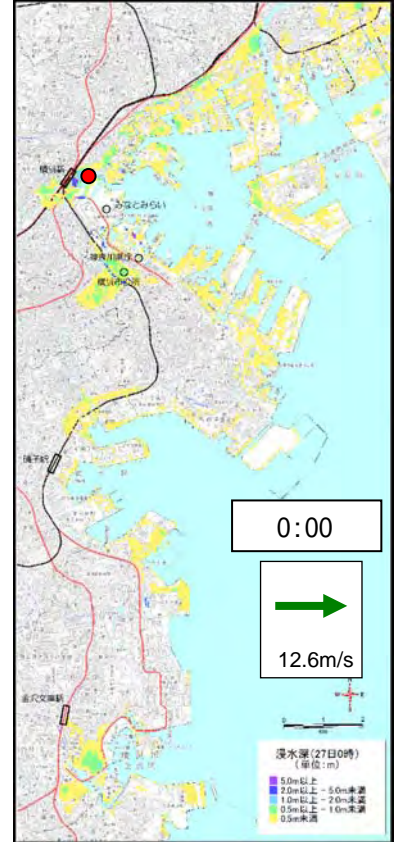
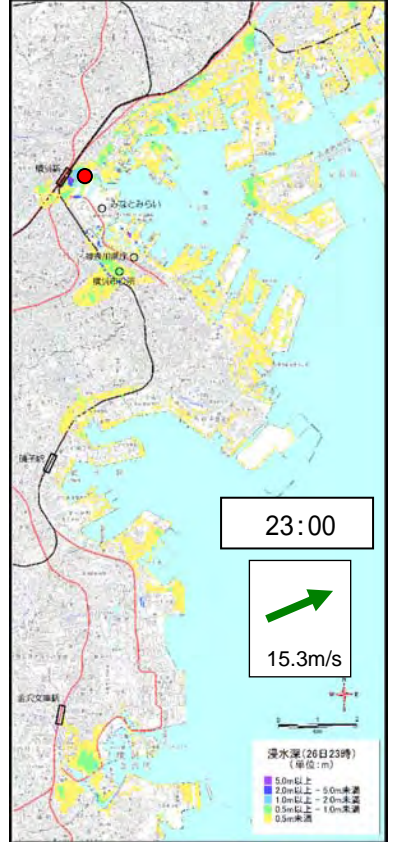
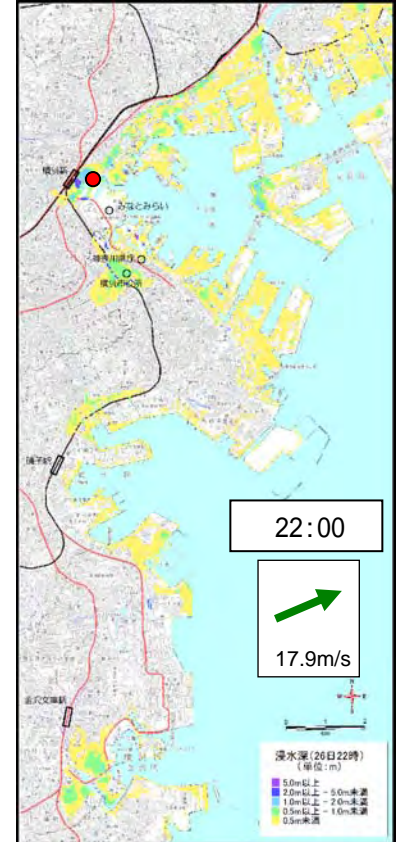
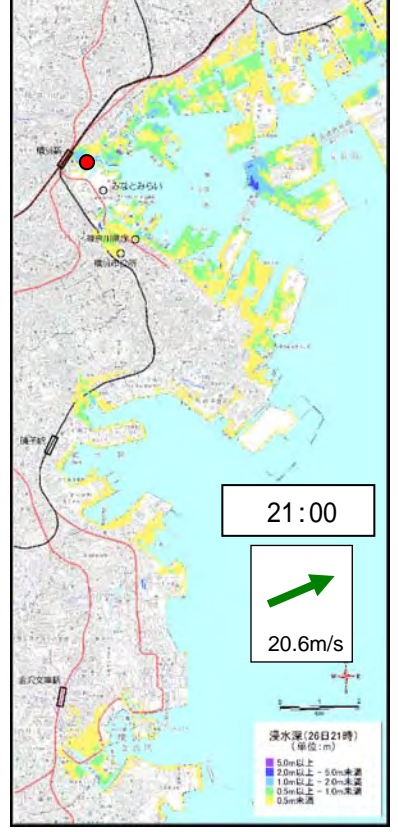
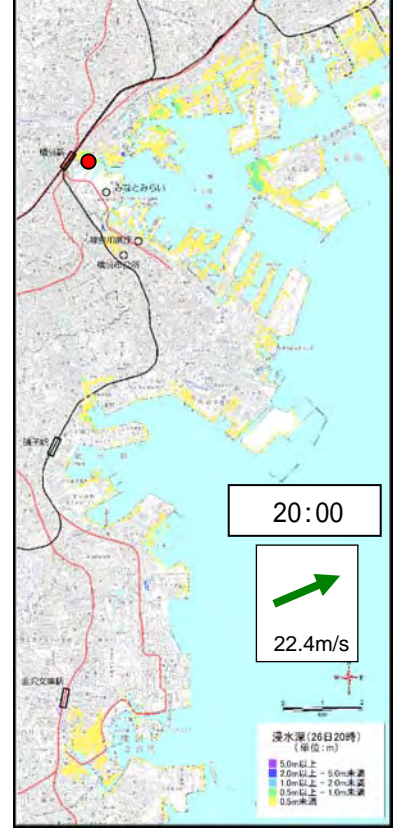
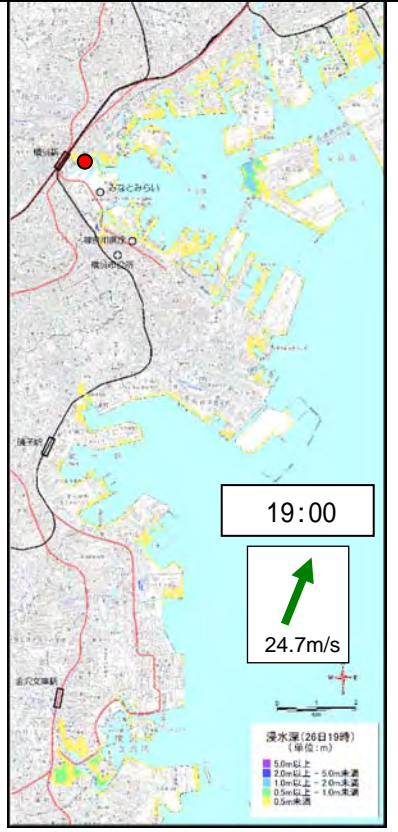
注2: 本想定は、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水想定結果を示したものであり、河川からの氾濫浸水及び排水については考慮していない。

注3: 本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。

横浜港等：シナリオC 海岸保全施設等の機能は正常、室戸台風級、温暖化による水位上昇考慮しない



最大浸水深分布
 浸水面積：2,495ha
 浸水量：11,496 (×1,000m³)



⇒ : 水門開放箇所
 — : 海岸保全施設

浸水深 (単位:m)

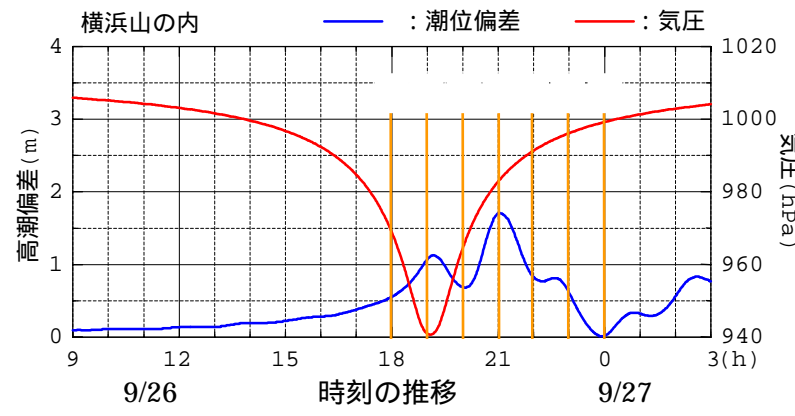
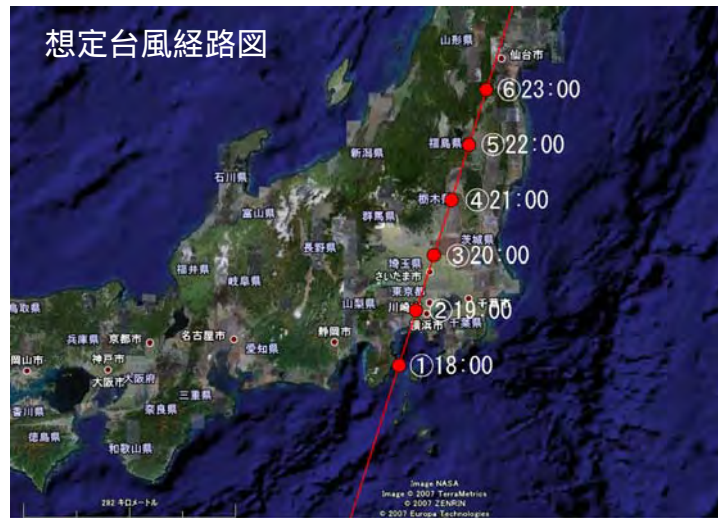
- 5.0m以上
- 2.0m以上 - 5.0m未満
- 1.0m以上 - 2.0m未満
- 0.5m以上 - 1.0m未満
- 0.5m未満

浸水域の経時変化

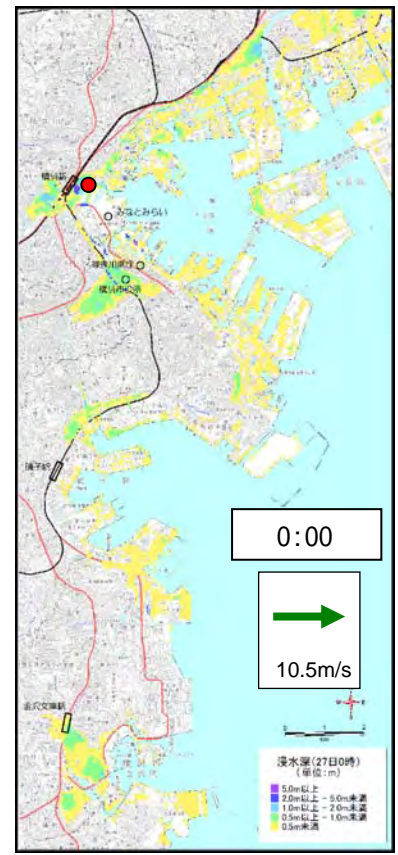
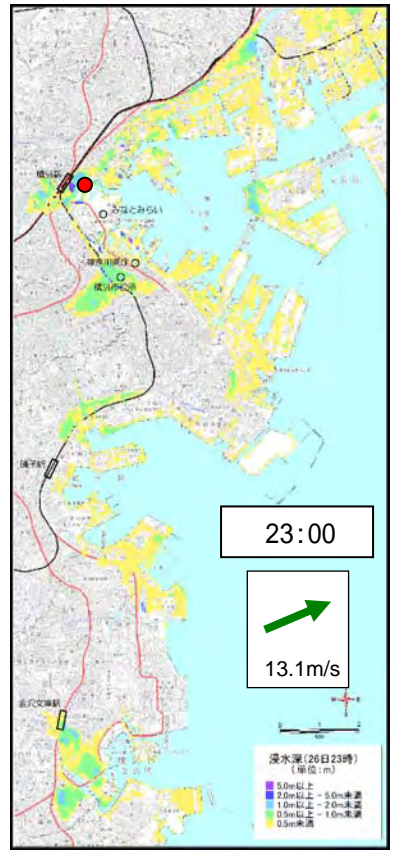
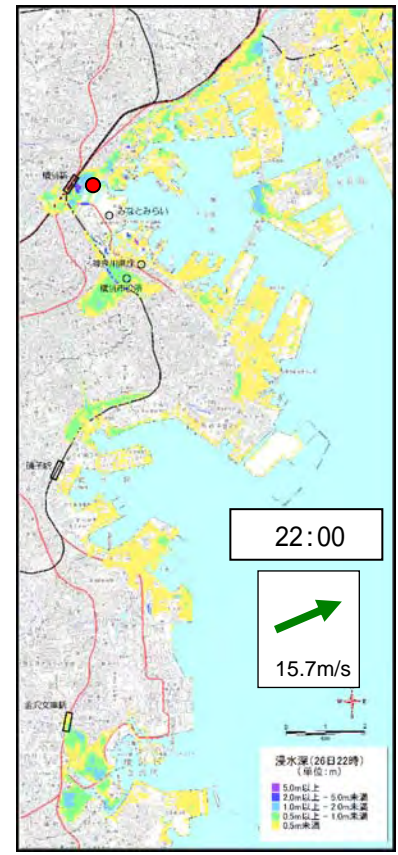
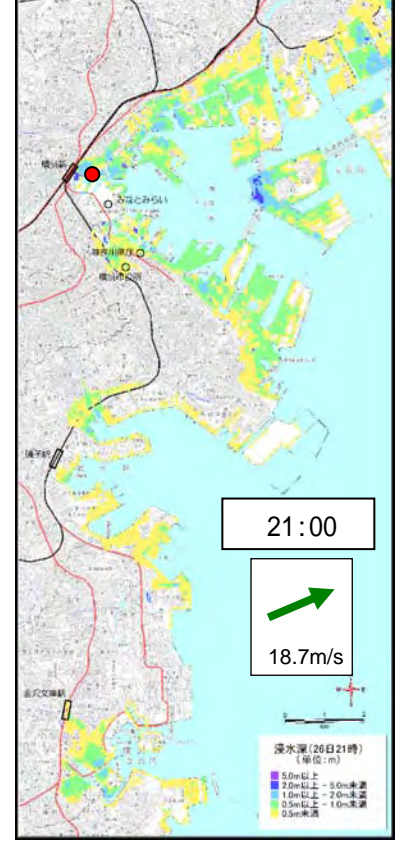
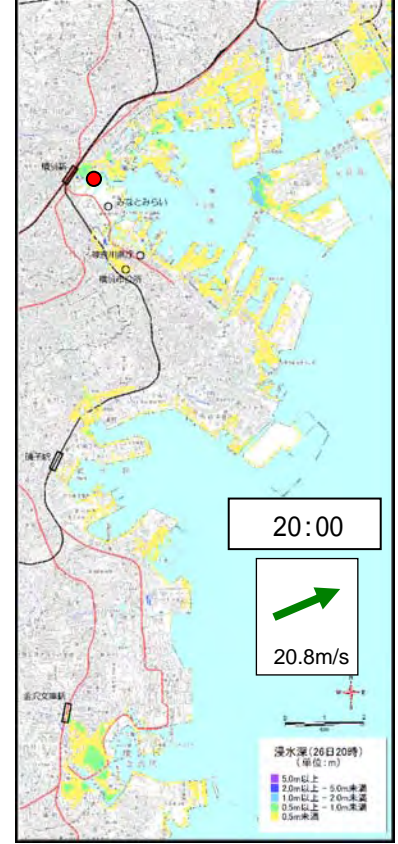
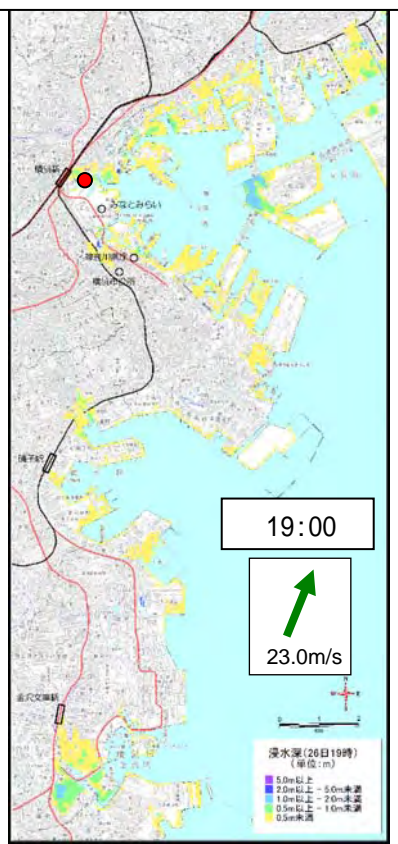
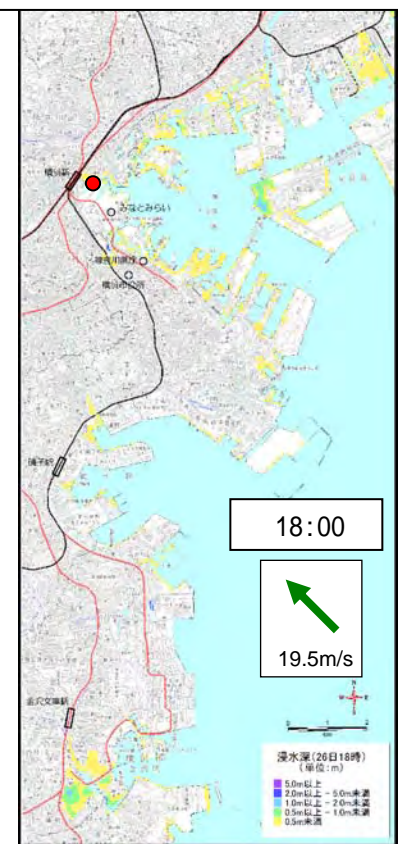
- ・ 浸水図中に矢印 (⇒) で示す風向・風速は、横浜港山の内埠頭付近の推算値である (浸水図中の 印)。
- ・ 浸水図 は、台風通過後に偏差が最低となる時の浸水状況を示すものである。

注1: 海岸保全施設については海岸省庁(水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局)及び海岸管理者の協力を得て、平成20年度末の天端高及び耐震化状況を設定。
 注2: 本想定は、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水想定結果を示したものであり、河川からの氾濫浸水及び排水については考慮していない。
 注3: 本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。

横浜港等：シナリオD 海岸保全施設等の機能は正常、伊勢湾台風級、温暖化による水位上昇を考慮(+0.6m)



最大浸水深分布
 浸水面積：3,018ha
 浸水量：16,449 (×1,000m³)



: 水門開放箇所
 : 海岸保全施設

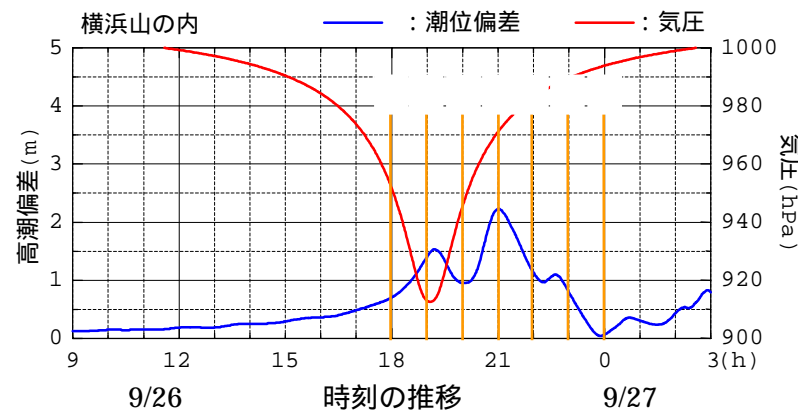
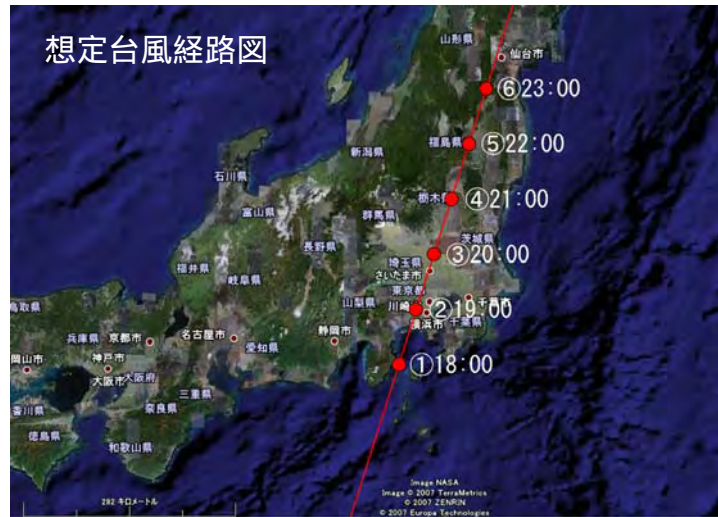
浸水深 (単位:m)
 5.0m以上
 2.0m以上 - 5.0m未満
 1.0m以上 - 2.0m未満
 0.5m以上 - 1.0m未満
 0.5m未満

浸水域の経時変化

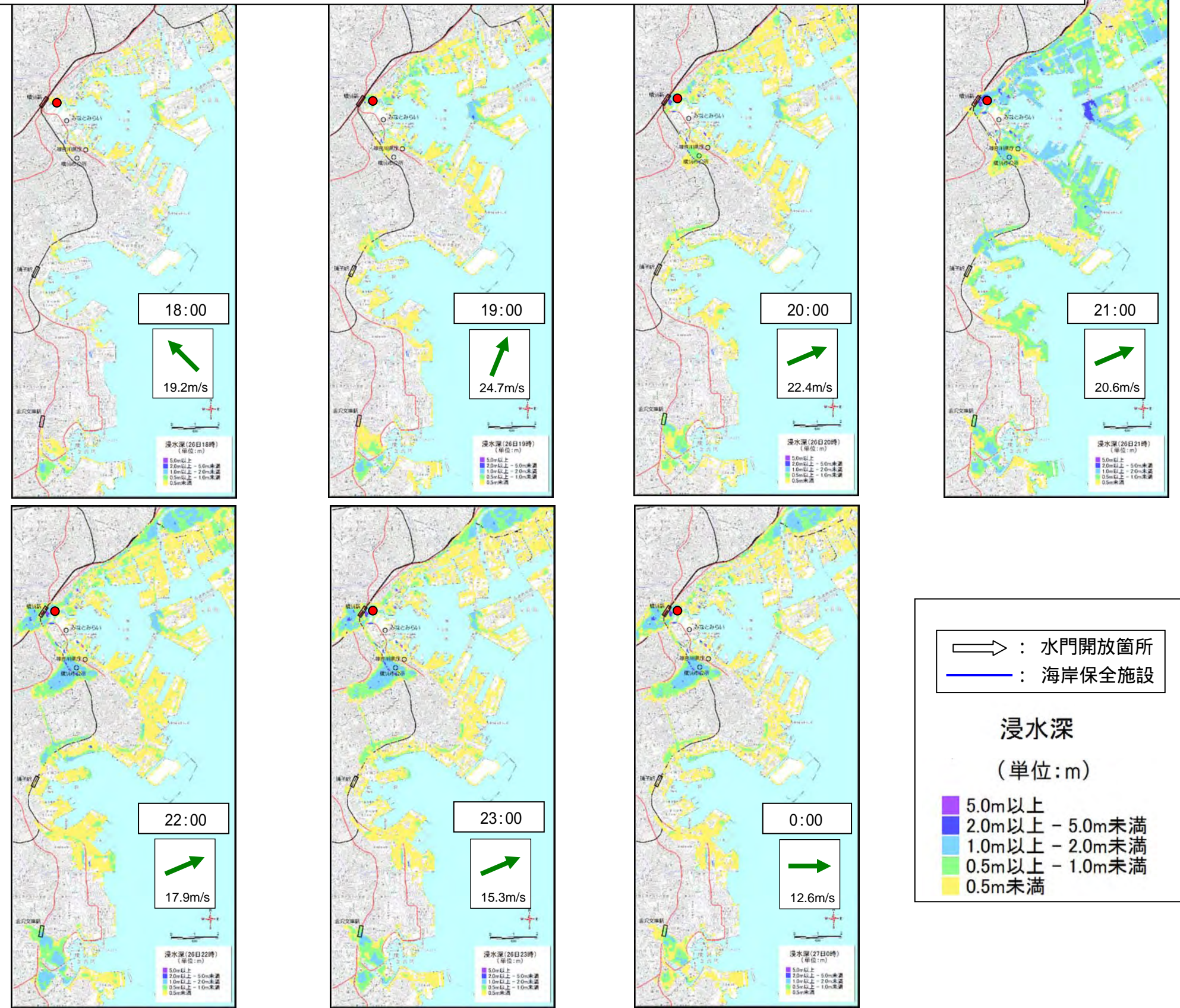
- ・ 浸水図中に矢印 (→) で示す風向・風速は、横浜港山の内埠頭付近の推算値である (浸水図中の 印)。
- ・ 浸水図 は、台風通過後に偏差が最低となる時の浸水状況を示すものである。

注1：海岸保全施設については海岸省庁(水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局)及び海岸管理者の協力を得て、平成20年度末の天端高及び耐震化状況を設定。
 注2：本想定は、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水想定結果を示したものであり、河川からの氾濫浸水及び排水については考慮していない。
 注3：本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。

横浜港等：シナリオE・シナリオF 室戸台風級、温暖化による水位上昇を考慮 (+0.6m)(海岸保全施設が存在しないため、シナリオE・シナリオFは同一条件)



最大浸水深分布
 浸水面積：4,148ha
 浸水量：36,752 (×1,000m³)



: 水門開放箇所
 : 海岸保全施設

浸水深
 (単位:m)

- 5.0m以上
- 2.0m以上 - 5.0m未満
- 1.0m以上 - 2.0m未満
- 0.5m以上 - 1.0m未満
- 0.5m未満

浸水域の経時変化

- ・ 浸水図中に矢印 (→) で示す風向・風速は、横浜港山の内埠頭付近の推算値である (浸水図中の 印)。
- ・ 浸水図 は、台風通過後に偏差が最低となる時の浸水状況を示すものである。

注1：海岸保全施設については海岸省庁(水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局)及び海岸管理者の協力を得て、平成20年度末の天端高及び耐震化状況を設定。

注2：本想定は、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水想定結果を示したものであり、河川からの氾濫浸水及び排水については考慮していない。

注3：本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。